

学校コード F113310103732
注3

設置年度 令和 4年度
計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
成蹊大学 理工学部 理工学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人成蹊学園
令和5年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	学長室総合企画課
職名・氏名	
電話番号	0422-37-3531
(夜間)	0422-37-3531
e-mail	kikaku@jim.seikei.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

理工学部

＜理工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	31
4. 既設大学等の状況	34
5. 教員組織の状況	36
6. 附帯事項等に対する履行状況等	81
7. その他全般的事項	83

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 成蹊学園

(2) 大学名

成蹊大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒180-8633

東京都武蔵野市吉祥寺北町三丁目3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(コバヤシ ケン) 小林 健 (令和3年4月就任)		
学長	(モリ ユウイチ) 森 雄一 (令和4年4月就任)		
学部長	(コイケ アツシ) 小池 淳 (令和4年4月就任)		
学科長等	(ヒサトミ ヒサン) 久富 寿 (令和4年4月就任)		
学科長等	(オカモト シュウスケ) 岡本 秀輔 (令和4年4月就任)		
学科長等	(ナカノ タケオ) 中野 武雄 (令和4年4月就任)		
学科長等	(シバタ マサアキ) 柴田 昌明 (令和4年4月就任)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
理工学部 理工学科 学士(理工学)	理学関係 工学関係	4 年	420 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	1680 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	420	420			
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5183	4717			
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	4935	4330			
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1989	1544			
B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	522	388			
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.24	0.92			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	556 [—] (—)	— [—] (—)	463 [1] (75)	— [—] (—)	令和4年度の入学者が入学定員を上回ったことや、学生募集を停止した物質生命理工学科、情報科学科、システムデザイン学科からの学生の転科により、1年次の在籍者数が例年と比較して多かったため、在籍者数に比例して留年者数が微増した。 【令和4年報告時の備考】 入学者数との差異の理由：学生募集を停止している物質生命理工学科、情報科学科、システムデザイン学科から転科したため。転科を希望する学生について、学修環境および学生生活の両面から教授会等で慎重に検討し、これを承認した。
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	472 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	556 [—] (—)	— [—] (—)	935 [1] (75)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した**在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	558 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	935 人	11 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	1 人	0 人	その他(1人) ※昨年度報告を行った、学生募集を停止している物質生命理工学科、情報科学科、システムデザイン学科から転科した学生のうち、令和2年度入学生が1名退学した。
			令和3年度	3 人	0 人	学力不足(1人)、その他(2人) ※昨年度報告を行った、学生募集を停止している物質生命理工学科、情報科学科、システムデザイン学科から転科した学生のうち、令和3年度入学生が3名退学した。
			令和4年度	7 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(4人) 海外留学(1人)、その他(1人)
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		11 人		11 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{558} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{11}{935} = \boxed{1.17} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2前・後	2								2
	近現代のアジアA	2前	2								1
	近現代のアジアB	2後	2								1
	近現代の欧米A	2前	2								2
	近現代の欧米B	2後	2								2
	中東地域史	2前	2								1
	現代の国際政治	2前	2								1
	グローバル経済論	2後	2								1
	国際文化交流論	2後	2								1
	異文化理解ボックス(ドイツ語圏)	2後	2								1
	異文化理解ボックス(フランス語圏)	2後	2								1
	異文化理解ボックス(スペイン語圏)	2後	2								1
	異文化理解ボックス(中国語圏)	2後	2								1
異文化理解ボックス(韓国語圏)	2後	2								1	
異文化理解ボックス(イスラーム世界)	2後	2								1	
小計(15科目)	—	0	30	0	0	0	0	0	0	0	15
全学共通科目・持続社会探究・人権・共	裁判と社会	2後	2								1
	生命倫理と法	2後	2								1
	地域福祉論	2前	2								1
	人権とジェンダー	2前	2								1
	こころの健康と臨床	2前・後	2								2
	高齢者福祉論	2前	2								1
	福祉社会に生きる	2後	2								1
	特別支援教育概論	2前・後	2								1
	共生社会ボックス(アートと社会)	2前	2								1
	共生社会ボックス(日本女性史)	2後	2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	9
全学共通科目・実践・持続社会探究・実	成蹊を知る	1後	2								1
	情報保障とボランティア	1前	2								4
	野外自然教育論	1後	2								1
	地元学実践演習	1後	2								1
	武蔵野地域研究	1後	2								1
	武蔵野市寄附講座	1後	2			1					1
	大学生生活と相互理解	1前	2								2
	成蹊グローバルセミナーA	1前	2								1
	成蹊グローバルセミナーB	1後	2								1
	武蔵野地域連携セミナー	1前・後	2								3
小計(10科目)	—	0	20	0	0	1	0	0	0	0	14
全学共通科目 小計(264科目)	—	8	477	0	5	4	0	1	0	0	250

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2後	2								2
	近現代のアジアA	2前	2								1
	近現代のアジアB	2後	2								1
	近現代の欧米A	2前	2								2
	近現代の欧米B	2後	2								2
	中東地域史	2後	2								1
	現代の国際政治	2前	2								1
	グローバル経済論	2後	2								1
	国際文化交流論	2後	2								1
	異文化理解ボックス(ドイツ語圏)	2前	2								1
	異文化理解ボックス(フランス語圏)	2前	2								1
	異文化理解ボックス(スペイン語圏)	2後	2								1
	異文化理解ボックス(中国語圏)	2後	2								1
異文化理解ボックス(韓国語圏)	2前	2								1	
異文化理解ボックス(イスラーム世界)	2前	2								1	
異文化理解ボックス(ドイツ語圏で学ぶ必修)	2前	2								1	
異文化理解ボックス(スペイン語圏で学ぶ必修)	2前	2								1	
異文化理解ボックス(韓国語圏で学ぶ必修)	2後	2								1	
小計(18科目)	—	0	36	0	0	0	0	0	0	0	18
全学共通科目・持続社会探究・人権・共	裁判と社会	2後	2								1
	生命倫理と法(未開講)	休講	2								0
	地域福祉論	2前	2								1
	人権とジェンダー	2後	2								1
	こころの健康と臨床	2前・後	2								2
	高齢者福祉論	2前	2								1
	福祉社会に生きる	2後	2								1
	特別支援教育概論	2前・後	2								1
	共生社会ボックス(アートと社会)	2前	2								1
	共生社会ボックス(日本女性史)	2後	2								1
共生社会ボックス(国際関係論 Study 3.0を中心)	2後	2								1	
共生社会ボックス(イノベーションの歴史と現状)	2前	2								1	
小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	10
全学共通科目・実践・持続社会探究・実	成蹊を知る	1後	2								1
	情報保障とボランティア	1前	2								4
	野外自然教育論	1後	2								1
	地元学実践演習	1後	2								1
	武蔵野地域研究	1前	2								1
	武蔵野市寄附講座	1後	2					0			1
	大学生生活と相互理解	1前	2								2
	成蹊グローバルセミナーA	1前	2								1
	成蹊グローバルセミナーB	1後	2								1
	武蔵野地域連携セミナー	1前・後	2								3
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	16
全学共通科目 小計(271科目)	—	8	491	0	6	7	0	3	0	0	246

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
												修
教科及び教職に関する科目	教職論	1前・後			2							1
	教育課程論	2後			2							1
	道徳教育の指導法	3前・後			2							2
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			2							1
	特別活動の指導法	3後			2							1
	教育方法論	2前・後			2							3
	進路指導論	1前			2							1
	生徒指導論	1後			2							1
	教育相談	2前・後			2							2
	教育実習論	3後			1							3
	教育実習(中・高)	4通			5							3
	教育実習(高)	4通			3							3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							4
小計(13科目)	—	0	0	29	0	0	0	0	0	0	12	
教科及び教科の指導法に関する科目	数学科教育法Ⅰ	2後			2							1
	数学科教育法Ⅱ	3前			2							1
	数学科教育法Ⅲ	3後			2							1
	数学科教育法Ⅳ	3前			2							1
	理科教育法Ⅰ	2後			2							1
	理科教育法Ⅱ	3前			2							1
	理科教育法Ⅲ	3前			2							1
	理科教育法Ⅳ	3後			2							1
	工業科教育法Ⅰ	2前			2							1
	工業科教育法Ⅱ	2後			2							1
	情報科教育法Ⅰ	2前			2							1
	情報科教育法Ⅱ	2前			2							1
小計(12科目)	—	0	0	24	0	0	0	0	0	0	4	
総合計(517科目)	—	26	868	81	29	12	1	7	0	0	323	
卒業要件及び履修方法												
4年以上在学し、かつ、次のすべての要件を満たした上で、124単位以上を修得すること。 (1) 全学共通科目にあつては、次の要件を満たした上で24単位以上修得すること。 ①「外国語(英語科目、初修外国語科目)」「技能(日本語力科目、キャリア教育科目、情報基盤科目、健康・スポーツ科目)」から12単位以上(このうち英語科目を必修4単位を含め6単位以上。また、「情報基礎」2単位を含む。) ②「教養基礎」「持続社会探究」から8単位以上 (2) 理工学科専門科目にあつては、次の要件を満たした上で90単位以上修得すること。 ①「社会人基礎力科目」「専攻融合科目」「ICT基礎科目」「理工学基礎科目」から20単位以上 ②「専攻コア科目」「専攻応用科目」から40単位以上 また、上記①、②を満たしたうえで、専攻ごとに定められた必修科目と選択必修科目の規定単位を修得すること。 (3) 卒業に必要な単位124単位のうち、(1)(2)から規定単位数を差し引いた残り10単位については、(1)(2)において規定単位数以上を修得した科目の単位を合計する。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
												修
教科及び教職に関する科目	教職論	1後			2							1
	教育課程論	2後			2							1
	道徳教育の指導法	3前・後			2							2
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			2							1
	特別活動の指導法	3後			2							1
	教育の方法と技術(名称変更)	2前・後			2							3
	ICT活用の理論と方法	2前			1		1					1
	進路指導論	1前・後			2							1
	生徒指導論	1後			2							1
	教育相談	2前・後			2							2
	教育実習論	3後			1							3
	教育実習(中・高)	4通			5							3
	教育実習(高)	4通			3							3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							4
小計(14科目)	—	0	0	30	0	1	0	0	0	0	12	
教科及び教科の指導法に関する科目	数学科教育法Ⅰ	2後			2							1
	数学科教育法Ⅱ	3前			2							1
	数学科教育法Ⅲ	3後			2							1
	数学科教育法Ⅳ	3前			2							1
	理科教育法Ⅰ	2後			2							1
	理科教育法Ⅱ	3前			2							1
	理科教育法Ⅲ	3前			2							1
	理科教育法Ⅳ	3後			2							1
	工業科教育法Ⅰ	2前			2							1
	工業科教育法Ⅱ	2後			2							1
	情報科教育法Ⅰ	2前			2							1
	情報科教育法Ⅱ	2後			2							1
小計(12科目)	—	0	0	24	0	0	0	0	0	0	4	
総合計(525科目)	—	26	882	82	32	14	1	20	0	0	309	
卒業要件及び履修方法												
4年以上在学し、かつ、次のすべての要件を満たした上で、124単位以上を修得すること。 (1) 全学共通科目にあつては、次の要件を満たした上で24単位以上修得すること。 ①「外国語(英語科目、初修外国語科目)」「技能(日本語力科目、キャリア教育科目、情報基盤科目、健康・スポーツ科目)」から12単位以上(このうち英語科目を必修4単位を含め6単位以上。また、「情報基礎」2単位を含む。) ②「教養基礎」「持続社会探究」から8単位以上 (2) 理工学科専門科目にあつては、次の要件を満たした上で90単位以上修得すること。 ①「社会人基礎力科目」「専攻融合科目」「ICT基礎科目」「理工学基礎科目」から20単位以上 ②「専攻コア科目」「専攻応用科目」から40単位以上 また、上記①、②を満たしたうえで、専攻ごとに定められた必修科目と選択必修科目の規定単位を修得すること。 (3) 卒業に必要な単位124単位のうち、(1)(2)から規定単位数を差し引いた残り10単位については、(1)(2)において規定単位数以上を修得した科目の単位を合計する。												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) I	1前	1				0					17
	College English (Reading & Writing) I	1前	1				1					17
	College English (Listening & Speaking) II	1後	1				0					17
	College English (Reading & Writing) II	1後	1				1					17
	College English (Integrated Skills) I	2前	1									15
	College English (Integrated Skills) II	2後	1									15
	TOEFL Preparation Introduction	1前・後		1								1
	TOEFL Preparation Intermediate	1前・後		1		1						1
	TOEIC Preparation Introduction	1前・後		1		1						2
	TOEIC Preparation Intermediate	1前・後		1								4
	IELTS Preparation Introduction	1前・後		1		1						1
	IELTS Preparation Intermediate	1前・後		1		1						1
	基礎からのコミュニケーション英文法	1前		2								1
	自分でデザインする英語学習	1前		2								1
	英語発音トレーニング	1前・後		2			1					
	英語読解トレーニング	1後		2								2
	Presentation Skills Basic	1前・後		2								2
	Discussion Skills Basic	1前・後		2								2
	Writing Skills (Paragraph)	1後		2								1
	Presentation Skills Intermediate	1後		2								1
	Discussion Skills Intermediate	1前		2								1
	Writing Skills (Essay)	1後		2								1
	多読で学ぶ英語と文化 I	2前・後		2								4
	多読で学ぶ英語と文化 II	2前・後		2								1
	映画で学ぶ英語と文化	2前・後		2		1						4
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前・後		2		1						3
	歌で学ぶ英語と文化	2前・後		2		1						2
	メディアで学ぶ英語と文化	2前・後		2		1	1					1
	キャリアのための英語と文化	2前・後		2								3
	TOEFL Preparation Advanced I	1前		1								1
	TOEFL Preparation Advanced II	1後		1								1
	IELTS Preparation Advanced I	1前		1								1
	IELTS Preparation Advanced II	1後		1								1
	TOEIC Preparation Advanced	1前・後		1								2
	Media English	2前・後		2								2
	Academic Listening	2前・後		2								1
	Cross Cultural Communication Skills	2前・後		2								2
	Discussion & Presentation	2後		2								1
	English for the Workplace	2前		2								1
	Essay Writing	2後		2								1
	Intensive Reading	2前・後		2								1
	World Englishes	2後		2								1
小計(42科目)	—	6	61	0	1	1	0	0	0		62	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎A I	1前		1								3
	ドイツ語基礎B I	1前		1								4
	フランス語基礎A I	1前		1								4
	フランス語基礎B I	1前		1								4
	スペイン語基礎A I	1前		1								5
	スペイン語基礎B I	1前		1								5
	中国語基礎A I	1前		1								8
	中国語基礎B I	1前		1								9
	韓国語基礎A I	1前		1								4
	韓国語基礎B I	1前		1								3
	ドイツ語基礎A II	1後		1								3
	ドイツ語基礎B II	1後		1								4
	フランス語基礎A II	1後		1								4
	フランス語基礎B II	1後		1								4
スペイン語基礎A II	1後		1								5	
スペイン語基礎B II	1後		1								5	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
全 学 共 通 科 目 ・ 外 国 語 ・ 初 修 外 国 語 科 目	中国語基礎A II	1後		1								8
	中国語基礎B II	1後		1								9
	韓国語基礎A II	1後		1								4
	韓国語基礎B II	1後		1								3
	ドイツ語演習コミュニケーション I	1前		2								2
	ドイツ語演習コミュニケーション II	1後		2								1
	ドイツ語演習コミュニケーション III	2前		2								1
	ドイツ語演習コミュニケーション IV	2後		2								1
	ドイツ語演習コミュニケーション V	2前		2								1
	フランス語演習コミュニケーション I	1前		2								1
	フランス語演習コミュニケーション II	1後		2								1
	フランス語演習コミュニケーション III	2前		2								1
	フランス語演習コミュニケーション IV	2後		2								1
	フランス語演習コミュニケーション V	2前		2								1
	スペイン語演習コミュニケーション I	1前		2								2
	スペイン語演習コミュニケーション II	1後		2								2
	スペイン語演習コミュニケーション III	2前		2								1
	スペイン語演習コミュニケーション IV	2後		2								1
	スペイン語演習コミュニケーション V	2前		2								1
	中国語演習コミュニケーション I	1前		2								4
	中国語演習コミュニケーション II	1後		2								4
	中国語演習コミュニケーション III	2前		2								2
	中国語演習コミュニケーション IV	2後		2								2
	中国語演習コミュニケーション V	2前		2								1
	韓国語演習コミュニケーション I	1前		2								1
	韓国語演習コミュニケーション II	1後		2								1
	韓国語演習コミュニケーション III	2前		2								1
	韓国語演習コミュニケーション IV	2後		2								1
	韓国語演習コミュニケーション V	2前		2								1
	ドイツ語演習言語と文化 I	2前		2								1
	ドイツ語演習言語と文化 II	2後		2								1
	ドイツ語演習言語と文化 III	2前		2								1
	ドイツ語演習言語と文化 IV	2後		2								1
	フランス語演習言語と文化 I	2前		2								1
	フランス語演習言語と文化 II	2後		2								1
	フランス語演習言語と文化 III	2前		2								1
	フランス語演習言語と文化 IV	2後		2								1
	スペイン語演習言語と文化 I	2前		2								1
	スペイン語演習言語と文化 II	2後		2								1
	スペイン語演習言語と文化 III	2前		2								1
	スペイン語演習言語と文化 IV	2後		2								1
	中国語演習言語と文化 I	2前		2								2
	中国語演習言語と文化 II	2後		2								1
	中国語演習言語と文化 III	2前		2								1
	中国語演習言語と文化 IV	2後		2								1
	韓国語演習言語と文化 I	2前		2								2
	韓国語演習言語と文化 II	2後		2								1
	韓国語演習言語と文化 III	2前		2								1
	韓国語演習言語と文化 IV	2後		2								1
	ドイツ語演習検定対策 I	2前		2								1
ドイツ語演習検定対策 II	2後		2								1	
ドイツ語演習検定対策 III	2前		2								1	
ドイツ語演習検定対策 IV	2後		2								1	
フランス語演習検定対策 I	2前		2								1	
フランス語演習検定対策 II	2後		2								1	
フランス語演習検定対策 III	2前		2								1	
フランス語演習検定対策 IV	2後		2								1	
スペイン語演習検定対策 I	2前		2								2	
スペイン語演習検定対策 II	2後		2								1	
スペイン語演習検定対策 III	2前		2								1	
スペイン語演習検定対策 IV	2後		2								1	
中国語演習検定対策 I	2前		2								2	
中国語演習検定対策 II	2後		2								1	
中国語演習検定対策 III	2前		2								1	
中国語演習検定対策 IV	2後		2								1	
韓国語演習検定対策 I	2前		2								2	
韓国語演習検定対策 II	2後		2								1	
韓国語演習検定対策 III	2前		2								1	
韓国語演習検定対策 IV	2後		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語演習プレゼンテーションⅠ	2前	2								1
	ドイツ語演習プレゼンテーションⅡ	2後	2								1
	フランス語演習プレゼンテーションⅠ	2前	2								1
	フランス語演習プレゼンテーションⅡ	2後	2								1
	スペイン語演習プレゼンテーションⅠ	2前	2								1
	スペイン語演習プレゼンテーションⅡ	2後	2								1
	中国語演習プレゼンテーションⅠ	2前	2								1
	中国語演習プレゼンテーションⅡ	2後	2								1
	韓国語演習プレゼンテーションⅠ	2前	2								1
	韓国語演習プレゼンテーションⅡ	2後	2								1
	世界の言語(ロシア語Ⅰ)	1前	1								1
	世界の言語(ロシア語Ⅱ)	1後	1								1
	世界の言語(タイ語Ⅰ)	1前	1								1
	世界の言語(タイ語Ⅱ)	1後	1								1
世界の言語(イタリア語Ⅰ)	1前	1								1	
世界の言語(イタリア語Ⅱ)	1後	1								1	
小計(101科目)	—	0	176	0	0	0	0	0	0	0	53
全学共通科目・技能・日本語力科目	実践日本語表現	1前・後	2								4
	実践話し方入門	1前・後	2								2
	日本語表現講義	1前・後	2								1
	実践漢字講座	1前・後	2								1
	語彙・読解講座	1前・後	2								1
	古典に学ぶ日本語表現	1前・後	2								2
	実用文書の作り方・情報の伝え方	2前・後	2								2
	テーマ別日本語表現(文芸をたのしむ)	2後	2								1
	テーマ別日本語表現(キャンパスで稼ぐ)	2前	2								1
	テーマ別日本語表現(源氏物語を読む)	2後	2								1
	テーマ別日本語表現(文章表現を磨く)	2前・後	2								1
	テーマ別日本語表現(話し方を磨く)	2後	2								1
小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	14
全学共通科目・技能・キャリア教育科目	キャリアアプランニング	1前・後	2								5
	ビジネストレーニングセミナー	1後	2								1
	キャリアセミナー	2前・後	2								6
	グローバルキャリアセミナー	2前	2								1
	キャリア発展講義	2後	2								1
	日本企業の現状と展望	2後	2		1						1
	インターンシップ準備講座	3前	2								1
	インターンシップ実習	3後	2		1						1
	理工系インターンシップ実習	3後	2		3	2					2
	発展インターンシップ準備講座	3前	2								1
発展インターンシップ実習	3後	2								1	
小計(11科目)	—	0	22	0	3	2	0	0	0	0	11
全学共通科目・技能・情報	情報基礎	1前	2				2		2		2
	情報活用A	1後	2				0				1
	情報活用B	1後	2								1
	情報活用C	1後	2								1
	情報活用D	1後	2								1
	情報活用E	1後	2								1
	情報活用F	1後	2								1
	データサイエンス入門	1後	2				1				1
小計(8科目)	—	2	14	0	0	3	0	2	0	0	8
全学共通科目・技能・健康・スポーツ科目	健康・スポーツ演習A	1前	2								19
	健康・スポーツ演習B	1後	2								19
	スポーツと科学	1前	2								1
	健康と科学	1前	2								1
	スポーツと文化	1後	2								1
	スポーツと社会	1前	2								1
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	20

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目・教養基礎・人文学	哲学の基礎	1前・後		2								2
	倫理学の基礎	1前・後		2								2
	現代社会と哲学	1後		2								1
	現代社会と倫理学	1後		2								1
	文学への招待	1前・後		2								3
	芸術への招待	1前・後		2								2
	カルチュラル・スタディーズ	1前・後		2								4
	心理学の基礎	1前・後		2								3
	自己理解の心理学	1前・後		2								3
	教育原理	1前・後		2								2
	教育心理学	1前・後		2								2
小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	22	
全学共通科目・教養基礎・社会科学	政治学の基礎	1前・後		2								1
	経済学の基礎	1前・後		2								2
	社会学と現代	1前・後		2								2
	日本国憲法	1前・後		2								2
	市民生活と法A	1前		2								1
	市民生活と法B	1後		2								1
	現代のマスメディア	1前		2								1
	社会心理学入門	1前・後		2								1
	企業と社会	1前・後		2								1
	学校と社会	1前・後		2								2
	近現代日本史A	1前		2								3
近現代日本史B	1後		2								3	
現代社会の地理	1前・後		2								2	
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	19	
全学共通科目・教養基礎・自然科学	物質の究極像	1後		2			1					0
	人間と進化	1後		2								1
	脳科学と心	1前・後		2								1
	天文学入門	1前		2								2
	薬はなぜ効くか	1後		2								1
	身の回りの科学	1前		2								1
	科学史	1前		2								1
	科学技術の発展と歴史	1後		2								1
	サイエンス・トピックス(熱と光の科学)	1後		2								1
	サイエンス・トピックス(物質の科学)	1前		2								1
	サイエンス・トピックス(数の世界)	1前		2		1						
	サイエンス・トピックス(生命の科学)	1後		2								1
	AI入門	1前		2			1					
	統計分析入門	1後		2			1					
小計(14科目)	—	0	28	0	1	2	0	0	0	0	11	
全学共通科目・持続社会探究・環境・地域	地球と環境	2前		2								1
	気象と地球環境	2後		2								1
	自然環境と文明	2前		2								1
	日本列島の歴史と災害	2前		2								1
	日本の国土と社会	2前・後		2								2
	外国の自然と社会A	2後		2								1
	外国の自然と社会B	2前		2								1
	地域づくり論	2前		2								1
	環境科学トピックス(生命と環境)	2前		2								1
	環境科学トピックス(食料と環境)	2後		2								1
	環境科学トピックス(エネルギーと環境)	2前		2								1
小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	9	
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2前・後		2								2
	近現代のアジアA	2前		2								1
	近現代のアジアB	2後		2								1
	近現代の欧米A	2前		2								2
	近現代の欧米B	2後		2								2
	中東地域史	2前		2								1
	現代の国際政治	2前		2								1
	グローバル経済論	2後		2								1
	国際文化交流論	2後		2								1
	異文化理解トピックス(ドイツ語圏)	2後		2								1
	異文化理解トピックス(フランス語圏)	2後		2								1
	異文化理解トピックス(スペイン語圏)	2後		2								1
	異文化理解トピックス(中国語圏)	2後		2								1
	異文化理解トピックス(韓国語圏)	2後		2								1
	異文化理解トピックス(イスラーム世界)	2後		2								1
小計(15科目)	—	0	30	0	0	0	0	0	0	0	15	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・権・共生	裁判と社会	2後		2							1
	生命倫理と法	2後		2							1
	地域福祉論	2前		2							1
	人権とジェンダー	2前		2							1
	こころの健康と臨床	2前・後		2							2
	高齢者福祉論	2前		2							1
	福祉社会に生きる	2後		2							1
	特別支援教育概論	2前・後		2							1
	共生社会トピックス(アートと社会)	2前		2							1
	共生社会トピックス(日本女性史)	2後		2							1
	小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	9
全学共通科目・実践・社会探究・実	成蹊を知る	1後		2							1
	情報保障とボランティア	1前		2							4
	野外自然教育論	1後		2							1
	地元学実践演習	1後		2							1
	武蔵野地域研究	1後		2							1
	武蔵野市寄附講座	1後		2			0				1
	大学生活と相互理解	1前		2							2
	成蹊グローバルセミナーA	1前		2							1
成蹊グローバルセミナーB	1後		2							1	
	武蔵野地域連携セミナー	1前・後		2							3
	小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	16
全学共通科目 小計(264科目)		—	8	477	0	5	5	0	2	0	254

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
				授	授	師	教	手			
社会人基礎・必修	アカデミックスキルズⅠ	1前	1			9	2		2		2
	アカデミックスキルズⅡ	2前	1			6	3	1	2		2
	PBLⅠ	3前	1			3	1	1			
	PBLⅡ	3後	1			25	7	1			4
小計(4科目)		—	4	0	0	28	8	1	4	0	6
社会人基礎・選択	理エビジネススキルズ	3後		2							1
	情報社会倫理	1後		2							1
	起業と特許	3後		2							1
	小計(3科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	3
専攻融合・選択	連携プロジェクトⅠ	2後		2		5	1				1
	連携プロジェクトⅡ	3前		2		4	1				2
	科学技術者倫理	3前		2		1					
	科学技術の最前線	3前		2		1					
	特別プログラム演習	3前		2		1					2
	小計(5科目)	—	0	10	0	11	2	0	0	0	5
ICT基礎・必修	プログラミング基礎	1前	1			6	2		6		3
	コンピュータ基礎	1後	2			4	1		2		1
	小計(2科目)	—	3	0	0	8	2	0	6	0	3
ICT基礎・選択A群	コンピュータ科学の基礎数学	1後		2							1
	インターネットの基礎知識	1後		2			1				
	情報処理の基礎理論	1後		2			1				0
	実践データモデリング	2前		2							1
	データサイエンス応用	2後		2			1				
	基本情報処理概論	2後		2							1
	Javaプログラミング	2後		2		1					
	IoTプログラミング	3後		2							1
	関数型プログラミング	3前		2			1				
小計(9科目)	—	0	18	0	1	4	0	0	0	4	
ICT基礎・選択B群	基礎化学のデータ解析	1前		2		1			1		1
	データベース	2後		2			1				
	情報理論	2前		2		1					
	数値計算	3前		2							1
	人工知能	3前		2		1					
	データマイニング	3前		2		1					
小計(6科目)	—	0	12	0	4	1	0	1	0	2	
理工学基礎・必修	微分積分学Ⅰ	1前・後	2			2					8
	線形代数学Ⅰ	1前	2			2	1				7
	小計(2科目)	—	4	0	0	2	1	0	0	0	9
理工学基礎・選択A群	数学演習Ⅰ	1前		1		3					5
	数学演習Ⅱ	1後		1							4
	物理学演習Ⅰ	1前		1		1	1	1			4
	物理学演習Ⅱ	1後		1		1	1				2
	生物学概論	1後		2		1					
	地学概論	2前		2		1					
	生物学実験	3前		1		1					
	地学実験	3後		1		1					1
	工業概論	3後		2							1
	科学英語	2後		1			1				
	物理学概論	1後		2		1					
	量子力学	3前		2			1				
小計(12科目)	—	0	17	0	5	2	1	0	0	12	
理工学基礎・選択B群	物理学Ⅰ	1前		2		1	1	1			4
	化学数学	1後		2		1					
	物理学実験	1前		1		1	1				
	化学概論	1前		2		0			1		
	化学実験	1前		1		1			1		
	微分積分学Ⅱ	1後		2		3					5
	線形代数学Ⅱ	1後		2		3					5
	物理学Ⅱ	1後		2		1	1				2
	確率統計基礎	1後		2		1					
	応用フーリエ解析	2前		2		2					
	微分方程式	2前・後		2		2					
	代数学	2後		2		1					
	幾何学	2前・後		2		1					
小計(13科目)	—	0	24	0	8	1	1	1	0	9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
理工学基礎・自由	数学入門	1前			2	2						0
	物理学入門	1前			2		1					
	化学入門	1前			2	1	0					
	生物学入門	1前			2	1						
	小計(4科目)	—	0	0	8	4	1	0	0	0	0	0
専攻コア・必修	輪講	4前	1			25	7	1				4
	卒業研究Ⅰ	4前	3			25	7	1				4
	卒業研究Ⅱ	4後	3			25	7	1				4
	小計(3科目)	—	7	0	0	25	7	1	0	0	0	4
	専攻コア・1群2群共通	C++プログラミングⅠ	1後		2		4	2		2		
C++プログラミングⅡ		2前		2		4			2			1
C++プログラミングⅢ		2後		2		1			1			3
離散数学		1前		2			2		0			4
C++プログラミング実験Ⅰ		1後		1		1			4			5
数理計画法		2前		2								1
C++プログラミング実験Ⅱ		2前		1		1				3		7
アルゴリズムとデータ構造		2前		2		1	1					
確率統計		1後		2			2		1			3
小計(9科目)		—	0	16	0	9	4	0	4	0	0	10
専攻コア・3群	機械力学Ⅰ	2前		2		1	0					
	インダストリアル・エンジニアリング	1後		2								1
	CAD/CAMⅠ	1後		2			1					1
	材料力学Ⅰ	2前		2		1						
	機械工学実験	2後		2		4	2					3
	流体力学Ⅰ	2前		2		1						
	人間工学	1後		2			1					1
	小計(7科目)	—	0	14	0	4	2	0	0	0	0	4
専攻コア・4群	電気回路Ⅰ	1後		2		1						
	電気電子工学概論	1後		1		5	1					1
	電子回路Ⅰ	2後		2								2
	プログラミングCⅠ	2前		2			1					1
	制御工学Ⅰ	2後		2		1			1			
	電気電子工学実験	2後		2		5	1					1
	小計(6科目)	—	0	11	0	5	1	0	1	0	0	3
専攻コア・5群	物理化学基礎	1後		2		1						
	有機化学基礎	1後		2		1						
	無機化学基礎	1後		2								1
	生物化学基礎	2前		2		1						
	分析化学基礎	2前		2		1	0					
	応用化学実験Ⅰ	1後		2		1			1			2
	応用化学演習Ⅰ	1後		1		1			1			2
	応用化学実験Ⅱ	2前		2		2	0		1			1
	応用化学実験Ⅲ	2後		2		2						2
	応用化学演習Ⅱ	2前		1		2	0		1			1
	応用化学演習Ⅲ	2後		1		2						2
小計(11科目)	—	0	19	0	6	0	0	2	0	0	6	
専攻応用・1群	確率論	2前		2			1					
	組合せ論	2後		2			1					
	形式言語とオートマトン	3前		2		1						
	データ解析法	2後		2			1					
	最適化モデリング	2後		2								1
	アルゴリズムデザイン	2後		2			1					
	機械学習	2後		2			1					
	熱・統計力学Ⅰ	2後		2				1				
	最適化理論	3前		2								1
	メカニズムデザイン	3前		2		1						
	多変量データ解析	3前		2			1					
	応用機械学習	3前		2			1					
	オペレーションズリサーチ	3後		2								1
	計算理論	3後		2		1						
	ビッグデータ解析	3後		2		1						
	統計モデリング	3後		2			1					
小計(16科目)	—	0	32	0	1	3	1	0	0	0	2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻応用・2群	IPネットワーク	3前		2								1
	デジタルシステム	2前		2		1						
	ユーザインタフェース	2前		2		1						
	メディア技術概論	2前		2		1						
	音声処理	2後		2		1						
	画像処理	2前		2		1						
	コンピュータシステム	2前		2		1						
	Web技術	2後		2		1						
	オペレーティングシステム	2後		2		1						
	CG技術	2後		2		1						
	パターン認識	3前		2		1						
	情報セキュリティ	3後		2								1
	プログラミング言語	2後		2			1					
	情報通信	2前		2								1
	自然言語処理	3後		2		1						
ニューラルネットワーク	3後		2		1							
ソフトウェア設計	3前		2		1							
並列分散処理	3後		2		1							
小計(18科目)	—	0	36	0	7	1	0	0	0	0	1	
専攻応用・3群	熱力学 I	1後		2		1						1
	ヒューマンファクターズ	2前		2			1					
	設計工学	2前		2								1
	応用Pythonプログラミング	2前		2								2
	シミュレーション基礎	3前		2								1
	ヒューマンインタフェース	2後		2		1						
	経済性工学 I	2後		2								1
	機械力学 II	2後		2		1	0					
	機械加工学	2後		2			1					
	人工知能基礎	3前		2		1						
	生産システム工学	3前		2			1					
	熱力学 II	2前		2								1
	CAD/CAM II	2後		2								2
材料力学 II	2後		2		1							
流体力学 II	2後		2		1							
小計(15科目)	—	0	30	0	4	2	0	0	0	0	7	
専攻応用・4群	電気数学	2前		2		1						
	電気回路 II	2前		2		1						
	電磁気学 I	2前		2		1						
	ロボット工学	2前		2		1						
	電子回路 II	3前		2								1
	電子固体物性	2前		2		1						
	半導体基礎	2後		2		1						
	プログラミングC II	2後		2		1			1			
	電気電子計測	2後		2		1						
	電気回路 III	2後		2								1
	電磁気学 II	2後		2								1
小計(11科目)	—	0	22	0	4	0	0	1	0	0	3	
専攻応用・5群	応用化学特別講義 I	1前		2		1						
	化学工学基礎	2前		2		1						
	化学熱力学	2前		2		1						
	有機反応機構	2前		2		1						
	錯体化学	2前		2								1
	応用化学特別講義 II	2後		2		1						
	サイエンスプログラミング	2後		2		1						1
	反応速度論	2後		2								1
	有機立体化学	2後		2		1						
	固体化学	2後		2								1
	細胞生化学	2後		2		1						
	機器分析	2後		2								1
	マテリアルズインフォマティクス	3前		2					1			
	バイオインフォマティクス	3後		2								1
小計(14科目)	—	0	28	0	6	0	0	1	0	0	6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻発展	量子情報科学概論	2後		2		1						
	熱・統計力学Ⅱ	3後		2				1				
	計測工学	3前		2							1	
	計算力学	3後		2								1
	信頼性工学	3前		2								1
	認知工学	3前		2			1					
	電力システム	3前		2		1						
	パワーエレクトロニクス	3前		2		1						
	プラズマ理工学	3前		2		1						
	半導体工学	3前		2								1
	電気電子材料	3前		2		1						
	デジタル信号処理	3前		2		1						
	電気制御シミュレーション	3前		2			1					
	量子化学	3前		2		0						1
	有機合成化学	3後		2		1						
	材料化学	3前		2								1
	生物有機化学	3前		2		1						
	移動速度論	2後		2		1						
	金属材料工学	3後		2		1						
	音響工学	3後		2		1	0					
	会計情報基礎	3後		2								1
	実験計画法	3前		2		1						
	感性工学	3後		2			1					
	センサデータ処理	3後		2		1						
	電気機器	3後		2			1					
	モーションコントロール	3後		2		1						
	集積回路	3後		2								1
	電気化学	3前		2		1	0					
	高分子化学	3前		2		1						
	触媒化学	3後		2		1						
	生物資源工学	3後		2		1						
	分離工学	3前		2		1						
	界面化学	3後		2		1	0					
	生物医薬工学	3前		2		1						
	反応工学	3後		2		1						
	食品化学	3後		2								1
	環境工学	3後		2								1
	経済性工学Ⅱ	3前		2								1
	制御工学Ⅱ	3前		2		1						
小計(39科目)	—	0	78	0	16	2	1	0	0	0	10	
専門科目	小計(209科目)	—	18	373	8	31	12	1	11	0	60	
自由設計・GS	International Business	2前		2							1	
	Japanese Economy	2後		2							1	
	Current Topics in Business and Economics	2後		2							1	
	International Relations	2前		2							1	
	Regional Studies	2前後		2							2	
	Current Topics in Global Issues	2後		2							1	
	Japanese Contemporary Issues	2後		2							1	
	Japanese Traditional Culture	2後		2							1	
	Current Topics in World Affairs	2前		2							2	
小計(9科目)	—	0	18	0	0	0	0	0	0	0	9	
教職の教員に 関する科目	職業指導	1前			2						1	
	理工教材開発法	3前			2						1	
	情報と職業	1前			2						1	
	小計(3科目)	—	0	0	6	0	0	0	0	0	2	
教職課程の 大学が独自 に設定する科目	教職特論演習Ⅰ	3後			2						1	
	教職特論演習Ⅱ	4前			2						1	
	学校経営と学校図書館	2前			2						1	
	学校図書館メディアの構成	2後			2						1	
	学習指導と学校図書館	2後			2						1	
	読書と豊かな人間性	2後			2						1	
	情報メディアの活用	2後			2						1	
小計(7科目)	—	0	0	14	0	0	0	0	0	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教科及び教職に関する科目	教職論	1前・後			2							1
	教育課程論	2後			2							1
	道徳教育の指導法	3前・後			2							2
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			2							1
	特別活動の指導法	3後			2							1
	教育方法論	2前・後			2							3
	進路指導論	1前・後			2							1
	生徒指導論	1後			2							1
	教育相談	2前・後			2							2
	教育実習論	3後			1							3
	教育実習(中・高)	4通			5							3
	教育実習(高)	4通			3							3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							4
小計(13科目)	—	0	0	29	0	0	0	0	0	0	12	
教科及び教科の指導法に関する科目	数学科教育法Ⅰ	2後			2							1
	数学科教育法Ⅱ	3前			2							1
	数学科教育法Ⅲ	3後			2							1
	数学科教育法Ⅳ	3前			2							1
	理科教育法Ⅰ	2後			2							1
	理科教育法Ⅱ	3前			2							1
	理科教育法Ⅲ	3前			2							1
	理科教育法Ⅳ	3後			2							1
	工業科教育法Ⅰ	2前			2							1
	工業科教育法Ⅱ	2後			2							1
	情報科教育法Ⅰ	2前			2							1
	情報科教育法Ⅱ	2前			2							1
小計(12科目)	—	0	0	24	0	0	0	0	0	0	4	
総合計(517科目)	—	26	868	81	31	12	1	13	0	0	329	

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、かつ、次のすべての要件を満たした上で、124単位以上を修得すること。

(1) 全学共通科目にあつては、次の要件を満たした上で24単位以上修得すること。

①「外国語(英語科目、初修外国語科目)」「技能(日本語力科目、キャリア教育科目、情報基礎科目、健康・スポーツ科目)」から12単位以上(このうち英語科目を必修4単位を含め6単位以上。また、「情報基礎」2単位を含む。)

②「教養基礎」「持続社会探究」から8単位以上

(2) 理工学科専門科目にあつては、次の要件を満たした上で90単位以上修得すること。

①「社会人基礎力科目」「専攻融合科目」「ICT基礎科目」「理工学基礎科目」から20単位以上

②「専攻コア科目」「専攻応用科目」から40単位以上

また、上記①、②を満たしたうえで、専攻ごとに定められた必修科目と選択必修科目の規定単位を修得すること。

(3) 卒業に必要な単位124単位のうち、(1)(2)から規定単位数を差し引いた残り10単位については、(1)(2)において規定単位数以上を修得した科目の単位を合計する。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

(別紙 S令4-1) のとおり。

【令和5年度】

(別紙 S令5-1) のとおり。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	460 科目	39 科目	517 科目	18 科目 [0]	467 科目 [7]	40 科目 [1]	524 科目 [7]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	スペイン語演習コミュニケーションV	2	2前	一般	選択	上級科目のため、前年度において履修者が見込まれないと判断したため。2024年度に向けては初級科目の履修者に働きかけを行い、開講予定。
2	ドイツ語演習検定対策Ⅲ	2	2前	一般	選択	上級科目のため、前年度において履修者が見込まれないと判断したため。2024年度に向けては初級科目の履修者に働きかけを行い、開講予定。
3	ドイツ語演習検定対策Ⅳ	2	2後	一般	選択	上級科目のため、前年度において履修者が見込まれないと判断したため。2024年度に向けては初級科目の履修者に働きかけを行い、開講予定。
4	生命倫理と法	2	2後	一般	選択	隔年開講科目のため。2024年度は開講予定。
5	環境科学トピックス (エネルギーと環境)	2	2前	一般	選択	別途(環境保全と住環境の現在・未来)を開講するため、学生の履修に影響なし。
6	テーマ別日本語表現 (キャンパスで俳句)	2	2前	一般	選択	別途(成蹊俳句教室)を開講するため、学生の履修に影響なし。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった科目は、次年度以降に開講する予定であり、学生は在学中に履修機会を確保できるため、支障がない。なお、当該学生には、履修登録前にポータルサイト等で周知済みである。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{6}{517} = \boxed{1.16} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	成蹊高等学校 (必要面積13,704 ㎡)(収容定員:966人) と共用 成蹊中学校 (必要面積12,924 ㎡)(収容定員:801人) と共用 成蹊小学校 (必要面積10,620 ㎡)(収容定員:720人) と共用	
	校舎敷地	78,816.78㎡	0㎡	51,241.63㎡	130,058.41㎡		
	運動場用地	87,580.85㎡	0㎡	18,671.01㎡	106,251.86㎡		
	小 計	166,397.63㎡	0㎡	69,912.64㎡	236,310.27㎡		
	そ の 他	8,256.21㎡	237,813.30㎡	0㎡	246,069.51㎡		
	合 計	174,653.84㎡	237,813.30㎡	69,912.64㎡	482,379.78㎡		
(2) 校 舎	専 用	88,391.69㎡ 88,405.82㎡ 88,573.57㎡ (88,573.57㎡)	共 用 (0㎡)	共用する他の 学校等の専用 (0㎡)	計 (88,573.57㎡)	トラスコンガーデンの耐震及び一部取壊しのため(4) トラスコンガーデンの耐震及び一部取壊し後に発生した面積の誤差並びに液体窒素保管庫の増築のため(5)	
(3) 教 室 等	講 義 室	70室	演 習 室 39室	実験実習室 173室 180室 179室	情報処理学習施設 7室 (補助職員0人)	語学学習施設 5室 (補助職員0人)	大学全体 実験実習室:用途変更による増室のため。(4) 実験実習室:用途の見直し及び新校舎建設工事に伴う減室のため。(5)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		用途見直しにより、研究室を増設したため。(4) 教員の退職及び採用に伴い、増室したため。(5)	
	理工学部 理工学科			66 59 56			室

(5)	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分図書 90,046 [12,299] (87,434 [12,164]) (83,820 [11,786]) (93,531 [10,507])
		〔うち外国書〕		〔うち外国書〕					
		冊	種	〔うち外国書〕	〔うち外国書〕				
図書・設備	理工学部 理工学科	83,270 [22,687]	66 [27]	115 [115]	12,965	252	0	(変更理由)	図書：複本の除籍のため。(4) 学術雑誌：契約の見直しのため。(4) 電子ジャーナル：契約の見直しのため。(4) 視聴覚資料：複本の除籍のため。(4) 機械・器具：図書館内設置のパソコン台数を減らしたため。パソコン台数は十分に確保しているため、このことによる支障はない。(4) 大学全体での共用分図書：複本の除籍のため。(4) 図書：複本及び内容の陳腐化等による除籍のため。(5) 学術雑誌及び電子ジャーナル：契約の見直しのため。(5) 視聴覚資料：除籍のため。(5) 機械・器具：パソコン等の設置場所の見直しのため。このことによる支障はない。(5) 大学全体での共用分図書：新刊購入等による増加。外国書は複本及び内容の陳腐化等による除籍のため。(5)
		(79,403 [22,372]) (78,768 [22,306]) (74,746 [20,694])	(66 [27]) (94 [32]) (73 [17])	(115 [115]) (85 [85]) (46 [46])	(12,036) (10,086) (9,830)	(252) (231) (206)	(0)		
		計	83,270 [22,687]	66 [27]	115 [115]	12,965	252	0	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	11,925.03㎡		850		1,390,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	5,006.6㎡		野球場 1面、サッカー場 1面、テニスコート 1面、卓球場 1棟		ハンドボールコート 1面、アーチェリー射場 1面、弓道場 1面				

(8)	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体
		教員 1 人当り研究費等	1,911千円 1,743千円	1,911千円 1,743千円 1,765千円	図書購入費	9,184千円 6,097千円	9,184千円 6,218千円	9,184千円 8,285千円 7,745千円	
	共同研究費等	2,790千円 1,384千円	2,790千円 2,547千円 2,630千円	設備購入費	90,300千円 143,886千円	90,300千円 78,290千円	90,300千円 76,945千円 89,642千円	教員 1 人当り研究費等：教員数は増加したものの学部全体の研究費予算が増加したため、1 名あたりの研究費が増加している。(5) 図書購入費：図書購入費は減少しているが、刊行物購入費は増加傾向にある。図書と刊行物の購入費の合計では支出額に大きな増減はなく研究・教育環境への影響はない。(5) 共同研究費等：過年度実績及び次年度の研究プロジェクトの計画に基づき予算を設定しているため予算の増減が発生する。(5) 設備購入費：中期的な教育環境整備計画に基づき設備費を算出するが、詳細の設計にあたり見込額が変動するため増減が発生する。(5)	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次 1,725千円	第 2 年次 1,525千円	第 3 年次 1,525千円	第 4 年次 1,525千円	第 5 年次 — 千円	第 6 年次 — 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号（その 1 の 1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和 5 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	成蹊大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
経済学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和43	-	令和2年度学生募集停止					
経済経営学科	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	-	-	-	平成16	東京都武蔵野市吉祥寺北町三丁目3番1号	令和2年度学生募集停止					
経済学部	4	230	-	920	-	1.02	1.02	1.01	1.01	-	令和2	-	令和2年度設置					
経済数理学科	4	80	-	320	学士(経済学)	1.04	-	1.03	-	-	令和2	同上	令和2年度設置					
現代経済学科	4	150	-	600	学士(経済学)	1.01	1.01	1.01	1.01	-	令和2	同上	令和2年度設置					
理工学部	4	420	-	1640	-	1.04	-	1.06	1.02	-	平成17	-						
物質生命理工学科	4	-	-	250	学士(理工学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和4年度学生募集停止					
情報科学科	4	-	-	300	学士(理工学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和4年度学生募集停止					
システムデザイン学科	4	-	-	250	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和4年度学生募集停止					
理工学科	4	420	-	840	学士(理工学)	1.08	-	1.11	1.11	令和4	令和4	同上	令和4年度設置					
文学部	4	420	-	1680	-	1.01	-	1.04	1.01	-	昭和40	-						
英語英米文学科	4	121	-	484	学士(文学)	1.01	-	1.01	1.00	-	昭和40	同上	令和2年度入学定員減(9人)					
日本文学科	4	84	-	336	学士(文学)	1.01	-	1.03	1.01	-	昭和40	同上	令和2年度入学定員減(6人)					
国際文化学科	4	110	-	440	学士(文学)	1.01	-	1.06	1.01	-	平成12	同上						
現代社会学科	4	105	-	420	学士(文学)	1.02	-	1.04	1.01	-	平成12	同上	令和2年度入学定員減(5人)					
法学部	4	440	-	1760	-	1.04	1.04	1.08	1.04	-	昭和43	-						
法律学科	4	280	-	1120	学士(法学)	1.05	1.05	1.08	1.05	-	昭和43	同上						
政治学科	4	160	-	640	学士(政治学)	1.02	1.02	1.06	1.01	-	昭和43	同上						
経営学部	4	290	-	1160	-	1.05	1.04	1.04	1.04	-	令和2	-	令和2年度設置					
総合経営学科	4	290	-	1160	学士(経営学)	1.05	1.04	1.04	1.04	-	令和2	同上	令和2年度設置					
大学全体	4	1800	-	7160		1.03	1.03	1.06	1.02	-	-	-						

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学部 理工学科>

(1) -① 担当教員表

個人情報を含むため公表しません。(P.36~P.75)

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

(別紙 S令4-2) のとおり。

【令和5年度】

(別紙 S令5-2) のとおり。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	24 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
29	12	1	7	49	0	32	13	1	20	66	0
(31)	(14)	(1)	(13)	(59)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
32	14	1	20	66	0	32	14	1	20	66	0
[3]	[2]	[0]	[13]	[17]	[0]	[3]	[2]	[0]	[13]	[17]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{66}{49} = \boxed{134.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{66} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
								①	②	③
1	教授	藤田 渉	R3.9	選択	化学概論	①	R3.9.30付け他大学就任のため辞任（4）			
				選択	化学実験	①				
				選択	量子化学	①②				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
								①	②	③
1	准教授	関根 務	R4.8	必修	アカデミックスキルズⅠ	①	R4.8.31付け他大学就任のため辞任（5）			
				必修	PBLⅠ	①				
				必修	PBLⅡ	①				
				必修	輪講	①				
				必修	卒業研究Ⅰ	①				
				必修	卒業研究Ⅱ	①				
				選択	CAD/CAMⅠ	①				
				選択	機械工学実験	①				
				選択	機械加工学	②				
2	准教授	前川 佐理	R4.9	選択	理工系インターンシップ実習	①	R4.9.19付け他大学就任のため辞任（5）			
				選択	武蔵野市寄附講座	②				
				選択	連携プロジェクトⅠ	①				
				必修	輪講	①				
				必修	卒業研究Ⅰ	①				
				必修	卒業研究Ⅱ	①				
				選択	電気電子工学概論※	①				
				選択	プログラミングCⅠ	①				
				選択	電気電子工学実験	①				
				選択	パワーエレクトロニクス	①				
				選択	電気制御シミュレーション	①				
3	助教	高橋 翔太郎	R5.3	必修	アカデミックスキルズⅠ	①	R5.3.31付け他大学就任のため辞任（5）			
				選択	制御工学Ⅰ	①				
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
3	人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目
		選択	14	科目	選択	12	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	24	科目	計	22	科目	計	2	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
4	人	必修	10 科目	必修	10 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	17 科目	選択	15 科目	選択	2 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	27 科目	計	25 科目	計	2 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{4}{49} = \boxed{8.16} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>(3) -①に掲げる教員の退職に関し特に学生に周知していないが、担当予定科目は他の専任教員が担当しており、学生の履修等への影響はない。上級年次に配当されている科目については、すでに後任が採用されており、専任教員が担当する予定のため、教育上支障がない。</p> <p>(3) -②に掲げる教員の退職に関し、特に学生に周知していないが、1・2年次配当の科目については、すでに他の専任教員や兼任兼担教員が担当しており、学生の履修に影響はない。上級年次に配当されている科目については、一部教員はすでに後任が採用されており、その他教員についても後任が採用され次第、後任の専任教員が担当する予定のため、教育上支障がない。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和3年)	該当なし。	該当なし。	該当なし。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし。	該当なし。	該当なし。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学部 理工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
別紙（S令5-3）のとおり。	別紙（S令5-3）のとおり。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FDについては、本学部では（別紙 S令5-4）のとおり、FD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

本学部のFD委員会は、例年、年間8回開催している。
委員会は、学部長、学科主任（教務担当）、各専攻科目を担当する教員から選出された者、学部基礎科目を担当する教員から選出された者で構成され、その他、学部長が必要と認めた者も構成員とすることができる。
なお、概ね全ての回に全構成員が参加している。

c 委員会の審議事項等

理工学部FD委員会規則において、委員会の任務を以下の通り定めている。

- (1) 本学部におけるFD活動の企画・立案及び運営に関する事項
- (2) 学生による授業評価の結果分析及び活用に関する事項
- (3) シラバスの点検実施に関する事項
- (4) 全学FD委員会への報告に関する事項
- (5) その他学部長が必要と認めた事項

この定めに基づき、令和4年度のFD委員会では、次の事項についての審議等を行った。

- ・ FD活動関係（内容の計画、報告書、活動方針、学内他機関等との連携）
- ・ 授業研究会
- ・ ティーチングアワード（教員顕彰）候補者選出、推薦
- ・ 授業評価アンケート関係（実施、集計結果の確認、結果の分析、セルフレビュー）
- ・ シラバス関係（入力、第三者チェック）
- ・ 授業改善に向けた各種調査結果の活用、報告
- ・ 成績評価に関する事項
- ・ IR指標を用いた成績分布の点検に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

上記のFD委員会で内容を計画したFD研修会について、令和4年度は、以下2回のFD研修会を実施した。

- ① 「IR指標を用いた成績分布に関する意見交換会」をテーマとした研修会
- ② 「大学院生の研究活動アンケートに関する意見交換会」をテーマとした研修会

その他、授業研究会（村松大吾教授の担当科目「ビッグデータ解析」）も実施した。

b 実施方法

FD研修会：オンライン形式
授業研究会：オンライン形式

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD研修会：
①令和4年7月13日に実施した研修会には、62名が参加した。
②令和4年11月16日に実施した研修会には、54名が参加した。

授業研究会：令和4年12月21日に実施した研究会には、5名が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研修会：ほぼ全員にあたる参加者の下、多数の授業が対面授業になった中で、IR指標（GPA）の分布に関する実務的な研修ができた。アンケートの回答では、成績評価に関して教員間で種々の意見があることが確認できた。授業運営における透明性や公平性などに関わる重要な話題として、有用な研修となった。

授業研究会：授業の進め方などオンライン形式の工夫の理解とともに、授業観察後に開かれた授業研究会において、授業運営にかかる活発な議論がなされ、見識が深められている。講師が気付いていない講義の魅力をフィードバックするとともに、参加者全員が自身の授業におけるアクションプランを立案できた。今後のFD活動においても魅力的な講義を行っている講師を適切に選定し、継続的に授業研究会を実施していく必要がある。

② 実施状況

【SD】

a 実施内容

成蹊大学SD（Staff Development）実施方針を定め（別紙 S令5-5）、これに基づき、毎年度、実施計画を策定し、実施している。令和4年度は、全5回実施した。

研修テーマは、大学の教育研究活動及び教学マネジメントに関し、より適切かつ効果的な運営ができるよう、職員が必要な知識及び技能を習得するとともに、その能力及び資質の向上をめざすという目的（方針）を達成するため、以下のいずれかに該当するものとする。

- ① 3つのポリシーに基づく本学の自己点検・評価と内部質保証に関するもの
- ② 教学マネジメントに関わる専門的職員の育成に関するもの
- ③ 大学改革に関するもの
- ④ 学生の厚生補導に関するもの
- ⑤ 業務領域の知見の獲得を目的とするもの（総務、財務、人事、企画、教務、研究等）
- ⑥ その他（本学独自の業務に関するもの、時流に対応したもの等）

b 実施方法

令和4年度は、オンライン形式（Zoomを使用）及びオンデマンド動画の配信にて実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和4年度に開催したSDは、次のとおりである。
なお、参加者数については、教員・職員分け隔てなく参加募集をしていることもあり、分けての集計は行っていない。

- 第1回「成蹊大学の今後の運営方針について」参加数：139名
第2回「学部設置等における質保証システムとしての設置計画審査と履行状況等報告」参加数：39名
第3回「大学を取り巻く教育行政等の最新動向について」参加数：42名
第4回「『進学ブランド力調査』と『高校生価値意識調査』からみる最新の進学動向について」参加数：48名
第5回「学生と教職員の性の多様性—大学として何ができるか—」参加数：50名

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

b 教員や学生への公開状況、方法等

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし。

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

急速な技術革新、自然との共生、そして持続可能な社会の実現など、特定分野に限られた能力では、今後の複雑な課題に対応するのは困難である。そこで、従来の3学科体制を発展的に解消し、2022年度より1学科（理工学科）5専攻（データ数理専攻、コンピュータ科学専攻、機械システム専攻、電気電子専攻、応用化学専攻）に改組した。学問分野を明確にした堅固な専門知識とICT技術を修めて学生の専門性を確立するとともに専攻間の垣根は低くして、いわゆる「縦割り型」ではない様々な学際・融合分野の学びにも力を入れることで、実社会における課題を解決できる力を養うことを目的とした。

2022年に改組してから1年が経過し、本年2023年4月に第2期生を無事迎えることができた。理工学科設置の趣旨や目的の視点から、特に1年次科目と入試状況について、この1年間を振り返ることとする。

1. 1学科5専攻における教育

理工学科の初年度である2022年度は、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ感染」という。）コロナ感染が収束してきたこともあり、ほぼ全ての講義・実験などの授業を対面で実施することができた。コロナ感染の影響を心配していたが、理工学科の1年次生の授業運営を順調に始動させることができた。この点については、幸運であったと考えている。

(1) 1年次生の科目履修

1年次においては、理工学科のすべての学生が社会人基礎力科目、ICT基礎科目を履修している。これらの科目は、今回の改組の趣旨・目的を実現するために導入した科目群である。

社会人基礎力科目の主要な科目である「アカデミックスキルズⅠ」の履修では、専攻を超えてクラス分けをし、初年次から専攻間の壁を低くすることで学生間の交流を促した。学部1年生全員が少人数のクラスに分かれて、文章読解・作成能力、基礎的データ分析、図解力といった学術活動のための基礎的リテラシーを身に付けることや論理的思考を養う土台づくりができた。社会に出たときのレポート作成能力、プレゼン資料作成能力などを一定程度養うことができたと考えている。2年次においては、より進んだ科目として「アカデミックスキルズⅡ」を履修する。

ICT基礎科目である「コンピュータ基礎」と「プログラミング基礎」についても、すべての学生が、コンピュータを構成・実現するために用いられている基本的な要素技術について基礎から学ぶと共に、その動作原理の特徴を理解し、コンピュータが情報を表現したり計算したりできるしくみの根幹を学修した。全ての学生はPython言語によるプログラミングの基礎を修得し、実際に実社会の問題をパソコン上でプログラミングにより解決する手法を身に付けた。これらを通して、理工系学生としての実社会に出た時に役に立つICT技術の基礎を修得できたと考えている。

その他の科目についても、予定通りに実施できたと考えている。

(2) 2年次生の科目履修

理工学科の2年次生は、1年次に主に履修した社会人基礎力科目、ICT基礎科目、理工学基礎科目をベースに所属する専攻に関する専門的な科目を履修している。報告時点において、順調に履修が進んでいる。

2. 2023年度入試について

2022年度の入学者総数については、入学定員420名を上回る522名となった（定員超過率：1.24）。加えて5専攻間でも入学者数にも大きな不均衡が生じた。これは、指定校推薦による入学者数が専攻間で大きなばらつきがあったこと、1学科5専攻による入試の初年度であり、昨年度の実績値が利用できないことなどから、合格最低点の予測において誤差が生じたことが、原因と考えられた。

そこで、2023年度の入試においては、定員管理の適正化を進めた。指定校推薦においては、2022年度の各専攻における指定校推薦による合格者数を基にして、専攻毎に指定校を慎重に厳選した。また、3教科型学部個別入試（A方式）などの各入試方式における合格者数や補欠合格の数については、専攻毎ではなく理工学部としての入学者総数の適正化の視点から、2022年度の各入試方式での入学者数、2023年度の志願者数などを基にして慎重に審議を行い、段階的に合格最低点を決定した。

志願者については、2022年度入試における志願者総数に比較して、2023年度の志願者総数はやや減少したものの、専攻間の志願者数の不均衡は、一定程度解消されている。実際の入学者については、定員420名に対して388名、専攻別では、データ数理専攻：67名、コンピュータ科学専攻：91名、機械システム専攻：82名、電気電子専攻：68名、応用化学専攻：80名となり、入学者総数は定員より下回ったものの1年次と2年次を合計した在籍者数の上振れは一定程度改善された。また、専攻間での入学者数の不均衡についても、合格者数を慎重に検討した結果改善されている。

来年2024年度入試についても、引き続き定員管理の適正化を適宜進めて行く予定である。

総括評価

理工学科がスタートしてから約1年が経過したが、コロナ感染数も減少してきたことなどから2022年度はほぼすべての講義・実験で対面の実施ができた。1年次生への教育についても当初の予定通り実施できたと考えている。在籍者数（在籍している1年次生と2年次生の合計）が学部の収容定員（入学定員×2（経過年数））を上回っている点を除けば、理工学科は順調に始動したものと考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

大学全体の自己点検・評価報告書として、令和6年度はじめ（認証評価結果受領後）に公表予定（令和4年度に報告書を作成し、令和5年度に公益財団法人大学基準協会での認証評価を受ける予定）。

b 公表方法

大学ホームページ上に公開予定（令和6年4月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

令和5年度に公益財団法人大学基準協会による認証評価を受ける予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。